

# 事後評価結果(令和6年度)

担当課:道路整備課  
担当課長名:鈴木 和好

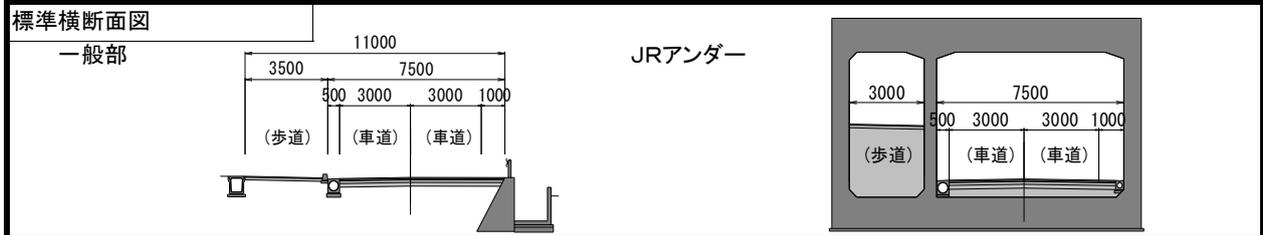
事業名	主要地方道 阿南相生線 新野工区	事業区分	主要地方道	事業主体	徳島県
起終点	自:徳島県阿南市新野町花坂 至:徳島県阿南市新野町入田			延長	1.20km

**事業概要**

主要地方道阿南相生線は、阿南市橘町から新野地区を経由し、那賀町に至る延長約26kmの路線であり、地域間交流の促進や通勤・通学をはじめとした生活道路として重要な道路である。  
このうち、整備区間の現道は、幅員狭小、車両の離合が困難なうえ、歩道も未整備である。また、現道とJR牟岐線の交差点である新野踏切では、交通渋滞が発生し、交通の隘路区間であるため、鉄道交差点のアンダーパス化と自歩道を備えた、2車線のバイパス道路を整備したものである。

**事業の目的・必要性**

当整備区間の旧道は、3~4m程度と非常に狭小で、諸車輛通行に支障をきたしており、また、新野小学校の通学路にもかかわらず、歩道等の整備ができていないことから、道路交通の円滑化を目的とし、自歩道を備えたバイパス道路を整備したものである。  
これらを解消することにより、生活道路としての「利便性・安全性」が改善され、大型車の円滑な通行確保による工業製品や農産物などの「物流の効率化」などを図った。



**事業を巡る社会情勢の変化**

- 平成23年4月:「一般国道55号 桑野道路」が事業化。
- 平成24年4月:「一般国道55号 福井道路」が事業化。
- 平成25年11月:「一般国道55号 阿南道路」の阿南市津乃峰町西分~橘町大浦(L=1.7km)が部分供用。

**事業効果**

- 化学製品などの工場製品及び人参、椎茸などの農産物における物流の効率化。
- 第22番札所平等寺など、県南地域における観光地アクセスの向上。
- 避難所、ヘリコプター降着場など、防災施設へのアクセス強化による地域防災力の向上。
- 鉄道立体交差化による現道踏切周辺の渋滞緩和、歩道設置による通学時などの歩行者・自転車の安全確保。

事業期間	事業開始年度	H10年度	用地着手	H10年度
	工事着手	H10年度	供用年	R元年度(R元. 12)
事業費	25.9億円		計画交通量	5,500台/日
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 47.9億円	総便益	基準年 令和6年
	1.0		48.1億円 走行時間短縮便益: 40.7億円 走行経費減少便益: 6.4億円 交通事故減少便益: 1.0億円	

**課題と今後の事業への反映**

当工区では、事前に市と連携して地元との調整を行ったことから、用地買収、工事施工など、円滑に進捗した。今後も関係機関及び地元住民と一体となった事業展開を図り、より円滑な事業進捗に努める。

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。